豊川海軍工廠関係空襲犠牲者数について（2026.10 平和交流館）

豊川市平和交流館では、平和公園の開園に合わせ「豊川海軍工廠関係空襲犠牲者名簿」（2,724 名分）を申出があれば閲覧できるようにしました。また同時期に、名簿から把握できる性別や没年齢を確認できる 2,333 名分のデータから豊川海軍工廠空襲の実態について分析を行い、動員学徒と女子挺身隊を中心とした若者・女性の犠牲が多いとされてきた豊川海軍工廠の空襲の実態が、統計的にも裏付けられることを公表しました（豊川海軍工廠平和公園 HP「豊川海軍工廠戦没者名簿からみた豊川海軍工廠空襲の実態」を参照）。

ただし、「豊川海軍工廠関係空襲犠牲者名簿」の中には、昭和 20 年 8 月 7 日の大空襲に先立つ 5 月 19 日の工廠空襲犠牲者も含まれ、どちらの空襲で亡くなったか判別し難い方もみえました。その他大島信雄氏の殉難者名鑑作成や新編豊川市史編纂の調査によって確認された 8 月 7 日の大空襲の民間人の犠牲者も市外も含め 156 名把握できています。

こうした状況から、8 月 7 日の豊川大空襲に限って言えば、民間人も含め空襲で何人の方が犠牲なられたのか確定しずらい状況の中、平和公園開園時には 5 月 19 日の工廠空襲犠牲者は可能性も高い方を含め 41 名で、8 月 7 日の豊川大空襲の犠牲者は、民間人も含め 2,677 名と把握していました。

しかし、令和 8 年の平和公園の秋のミニ企画展「豊川稲荷で催された慰霊行事」開催に先立ち豊川閣妙厳寺から借用した資料の中に、5 月 19 日の空襲に関する妙厳寺で行われた告別式の関係者名簿がり、そこに記載されている犠牲者 42 名と、死亡診断書等から後日死亡が確認できる別の 8 名を加えると、5 月 19 日の工廠の空襲で亡くなられた方々が 50 名を数えることが確定しました。

その結果、平和公園の開園時に 2,677 名と把握していた昭和 20 年 8 月 7 日の豊川大空襲の犠牲者数は、下記一覧表のとおり民間人も含め 2,669 名となり、8 月 7 日に限った空襲犠牲者数は 8 名減となりました。戦後 80 年以上を経ても、新資料の発見により豊川大空襲の実態解明が進んでいます。

	所　　属	確認人数	可能性高い	合　計	備　　考
	職員	１０１		１０１	5/19：2 名除外
	総務部	２００	３	２０３	5/19：3 名除外
	指揮兵器部	９１		９１	5/19：30 名除外、7 月：1 名除外
	機銃部	３２９	１	３３０	5/19：14 名(6＋9－1)、7/15：1 名除外
	光学部	１１１		１１１	
	火工部	６３３	１	６３４	1/14：1 名除外
	器材部	１７６	１	１７７	7/10：1 名除外
	会計部	１７８		１７８	
	医務部	１７		１７	
	養成工	８３		８３	
	学徒	４５２		４５２	
	派遣兵員	１２１	１	１２２	
	所属不明	１	１３	１４	5/10：1 名除外、5/19：1 名除外
	工廠関係者合計	２４９３	２０	２５１３	8/7 以前の空襲等犠牲者 55 名を除外
	豊川市内一般人	１１４	６	１２０	
	御津町内一般人	３３		３３	
	都田地内一般人	３		３	
	一般人合計	１５０	６	１５６	8/7 以前の空襲等犠牲者 12 名を除外
	総合計	２６４３	２６	２６６９	※R8.1 修正合計 2677⇒2669（8 名減）

豊川海軍工廠の 8 月 7 日大空襲の犠牲者数一覧（令和 8 年 10 月現在市教委データベース集計数）